

埼玉アートシアター通信

S A I T A M A A R T S T H E A T E R P R E S S

2013.1-2

NO. 43

彩の国シェイクスピア・シリーズ第27弾

『ヘンリー四世』

吉田鋼太郎&松坂桃李

バッハ・コレギウム・ジャパン

ピアノ・エトワール・シリーズ

小曾根 真

2013 ダンス&音楽ラインナップ

Οιδίπους Τύραννος

さいたまネクスト・シアター 第4回公演
2013年・蒼白の少年少女たちによる
「オイディプス王」



2013.1-2
NO. **43**

- 03**
PLAY

 彩の国シェイクスピア・シリーズ第27弾
『ヘンリー四世』
 吉田鋼太郎&松坂桃李
- 06**
PLAY

 さいたまネクスト・シアター第4回公演
 『2013年・蒼白の少年少女たちによる「オイディプス王」』
- 08**
PLAY

 速報! さいたまゴールド・シアター第6回公演
 『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』
- 09**
REPORT

 “ザ・ファクトリー2” さいたまネクスト・シアター
 『テネシー・ウィリアムズ一幕劇集連続上演』
- 10**
DANCE

 ダンスラインナップ 2013.5 - 10
- 12**
MUSIC

 鈴木雅明とBCJが紡ぎ出す至福のひとつ
 バッハ・コレギウム・ジャパン《ヨハネ受難曲》
- 14**
MUSIC

 7年目を迎えるシリーズに魅力的な演奏家たちが続々登場
 ピアノ・エトワール・シリーズ
- 16**
MUSIC

 音楽ラインナップ 2013.4 - 2014.3
- 17**
REPORT

 打楽器ワークショップ 「キミもパーカッショニスト!」
- 18**
COLUMN

 アーティストの原点09 小曽根 真
- 19**
REVIEW

 2012.11-12 彩の国のアート
- 20**

 イベント・カレンダー／チケットインフォメーション
 彩の国シネマスタジオ
- 23**

 THEATER BRIDGE



COVER
さいたまネクスト・シアター第4回公演
『2013年・蒼白の少年少女たちによる「オイディプス王」』
Photo◎Maiko Miyagawa Design◎Hiromasa Yaginuma [GOAT]

SAITAMA ARTS THEATER PRESS 2013.1-2 No.43
編集◎市川安紀 [アルカディア社]、結城美穂子 デザイン◎中野一弘 [bueno]

©公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
Published on 15. January 2013 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation
※掲載情報は、2012年12月25日現在のものです。公演は追加および一部変更される場合がありますので、ご了承ください。



彩の国シェイクスピア・シリーズ最新作として
『ヘンリー四世』が登場!
シェイクスピア戯曲の中でも屈指の人気者、
フォルスタッフとハル王子が大活躍する英国史劇だ。
本来は第1部・第2部に分かれた2部作をギュッと凝縮させ、
今回は1本の作品にまとめて上演する。
蜷川幸雄演出のもと、吉田鋼太郎と松坂桃李が
どんな名コンビぶりを見せてくれるのか?

取材・文◎市川安紀 Photo◎宮川舞子

Falstaff

彩の国シェイクスピア・シリーズ第27弾

『ヘンリー四世』

Prince Hal

吉田鋼太郎

「フォールスタッフ」

PROFILE

よしだ こうたろう 1959年東京都生まれ。97年劇団AUNを結成、演出も手がける。彩の国シェイクスピア・シリーズでは『タイタス・アンドロニカス』『オセロー』『アントニーとクレオパトラ』『シンベリン』でタイトルロールを務める。ほかに『リタルダン』『こどもの一生』など。

「大酒のみの女好き、大ボラ吹きの小心者です」

笑いあり涙ありの痛快冒険活劇

——「ヘンリー四世」はイギリスでは大人気だそうですが、日本ではそれほど馴染みがないです。「史劇」と聞くと難しくそうで。

イギリスの歴史なんて知らん！って思いますよね。でも今回は2部作をつなげて1本にしているし、日本人が理解しづらい部分はうまく省略されると思うんです。フォールスタッフとハル王子の大活劇と思ってもらえばいいんじゃないかな。「桃太郎」とか「遠山の金さん」みたいなもんですよ。エライ人が町人の格好をして、庶民と酒を飲んで大騒ぎ。フォールスタッフはそこにいるんで、最後は苦味もある。笑いあり涙ありの時代劇だと思っていただければ。

——フォールスタッフ役は2度目ですね。

ええ、人気のある役なので皆さんもある程度のイメージをお持ちでしょうけど、自分ならではの味は出したいですね。とはいえ、あまりイメージを壊しすぎてもいけない。その両方を狙いたいところです。

——フォールスタッフはどんな男ですか。

よく書かれている通り、「大酒のみで女好きで大ボラ吹きの小心者」そのものですよ。一応騎士だけど、あくまで庶民代表。戦いの最中に「名譽なんかより命をくれ」という名ゼリフがあって、そこは非常にシェイクスピアらしいと思います。でも、「本当は哲学的な男」なんてやってしまうと絶対につまらない。ハルが王になったら取り立ててもらおうという下心もミエミエだし、正直な

男ですね。そこを拡大して演じれば、とっても人間的な部分が出せると思う。「人間ってこんなものじゃないの？」って。

ハルとの関係を深めたい

——ハルとフォールスタッフの名コンビぶりが楽しめそうですが、ハルが王になった時に2人の関係がどう変わるのか見ものです。

この芝居の見どころですよ。そこから逆算してどう作るか。蛭川さんがどうおやりになるかわかりませんが、フォールスタッフを演じるに当たっては間違いなく楽しみなシーンです。お客さんには前半は笑っていただいて、最後は泣かせたいですね。

——ハル役の松坂桃李さんとは初共演です。

松坂くんはシェイクスピアも蛭川さんも初めてだと思うので、恐らくすごいプレッシャーだろうな。僕らでも蛭川さんと一緒にするプレッシャーは大きいですから。松坂くんが自由にできる環境を作ってあげられるか、ですね。どんどん飲み込んでいって、本音で喋れるようになりたい。それが舞台の上でフォールスタッフとハルの関係性に繋がってほしいかなと。

——若手の俳優さんたちとは現場以外でもよく交流されているとか。

バカ話しかしませんけど。ただ、意欲のあるヤツは、セリフの喋り方や表現の仕方をどんどん聞いてくるんです。松坂くんともそういう関係になればいいですね。それにはこちらもちゃんと芝居を見せられるようにしないと、と思っています。

「自分をさらけ出してぶつかっていきます！」

まずは歴史を知ることから

——ポスター撮影があったそうですね。

撮影現場に行くときに衣装とメイクが完了された鋼太郎さんがいらして、「わ、もうフォールスタッフがいる！」って（笑）。一気にテンションが上がりました。自分も負けてられないな、と。蛭川さんチームのスタッフさんが流れるように衣装を着けてくださって、アツと言う間にハル王子の完成。役がまだ自分の中で出来上がっていない状態で不安もあったんですけど、皆さんに一発で取り払っていただいた感じです。

——初めての蛭川演出、どう挑みますか。

基本的に僕はあまり自分を見せることが得意ではないんですが、今度ばかりは本当の意味で自分をさらけ出すことをしなければ、舞台上でちゃんと役として存在することが難しいんじゃないかと思っています。でも、何度か蛭川さんの稽古場を見学させていただいた時には、灰皿は飛んでいなかったような……（笑）。優しい方という印象です。

——戯曲を読んでいかがでしたか。

非常に難しいです。ひとつの物事をストレートではなく遠回りに表現するシェイクスピアの言葉は僕には馴染みがないもので、稽古に入る前に自分の中で馴染ませていかないといけないな、と。それに、そもそもヘンリー四世の時代の歴史を僕は知らなすぎますね。この国が当時、世界においてどのような立ち位置にあって、王や王子の権威はどれほどなのか。自分が演じるにあたっては、ちゃんと知っておくべきだ

と思うんです。そうすることで王子が発する言葉の感覚や感情も変わってくるでしょうし。ハルは自由奔放で周囲を振り回すけれど、だんだん上を目指す決意を固めていく。その奔放さがどれだけのものか、まだつかみ切れていない部分も多いですね。

役を楽しむことができるか

——フォールスタッフの鋼太郎さんはぜひ松坂さんと稽古場外でも親交を深めたい、と。

そんなもう、こちらこそです！ 鋼太郎さんはすでに1度フォールスタッフ役をやったらしいんですよ。そんな熟成された状態の（笑）鋼太郎さんと共演させていただけるなんて光栄ですし、すごく楽しみです。僕が何をしても受け止めてくださるだろうな、という信頼感は、ポスター撮影の時から感じてますから。

——この舞台を経てご自分がどうなっていたいか、理想像は浮かびますか。

舞台上で楽しめるようになっていたいと思います。映像では最近ようやく役を楽しむようになってきましたが、本格的な舞台の経験も少ないので、まだ恐怖のほうが大きくて。それにはまず滑舌をしっかりとすることや、絶対的に「声」が大事だと思っています。特にシェイクスピアは言葉の「音」で聞かせるから、自分の声がちゃんとお客さんに届かないと。きっと蛭川さんにはたくさん言われると思うんですが……。想像するとヘコみますけど（笑）、自分の分厚い殻を破って、ぶつかっていきたいです！

松坂桃李

「ハル王子」

Story

リチャード二世から王位を奪ったイングランド王ヘンリー四世は、国内問題を抱えていた。さらに王を悩ませるのは、飲んだくれの中年騎士フォールスタッフとともに放蕩三昧の日々を送る長男のハル王子だ。一方、功労者を冷遇する王に不満を募らせたノーサンバランド伯とその息子“ホットスパー”たちは反乱を起こすが、奮起したハルがホットスパーを打ち倒す。度重なる内乱が落ち着いたころ、ハルは死の床にある父王から王冠を託され、ヘンリー五世となった。友人ハルの即位を喜んだフォールスタッフは勇んで新王のもとへ駆けつけるが――。

PROFILE

まつざか・とおり 1988年神奈川県生まれ。2009年俳優デビュー。12年はNHK朝の連続テレビ小説『梅ちゃん先生』、映画『ツナグ』『今日、恋をはじめます』主演など飛躍の年となった。主演映画『ガッチャマン』が8月24日に公開予定。舞台は『銀河英雄伝説』、朗読『宮沢賢治が伝えること』に出演。

公演概要

彩の国シェイクスピア・シリーズ 第27弾 『ヘンリー四世』

日時：4月13日(土)～5月2日(木)

日	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1	2
4月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木
13:00	★	★		★	休演	★	★	★	★		★	休演	★	★	★	★			★	★
18:00	★			★							★								★	

会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

演出：蛭川幸雄

原作：W.シェイクスピア

翻訳：松岡和子

構成：河合祥一郎

出演：吉田鋼太郎、松坂桃李 ほか

チケット(税込)

一般：S席 9,000円/A席 7,000円/B席 5,000円(学生2,000円)

メンバーズ：S席 8,100円/A席 6,300円/B席 4,500円

発売日：一般 1月19日(土) ※メンバーズ発売中

現代上演版『オイディプス王』は、ここが見どころ!

文◎山形治江 (ギリシャ悲劇研究・翻訳家)

ギリシャ悲劇の最高傑作とされる『オイディプス王』は前429～425年のいずれかの年の春、古代アテネの野外劇場で初演された。作者のソフォクレスはこの時60代後半、劇作にかけてはすでに40年近くのキャリアがあった。緻密に計算された物語展開と登場人物の配置には一切の無駄がなく、合理的で完成度が高いこの作品は、まさに大ベテラン渾身の作と言えよう。2500年経った今もお上演され続けているのもうなずける。

優れた作品は、原作通りに上演されるだけに留まらないのが常である。その豊かな芸術性が、多くの創造者の想像力と創作意欲を刺激するからだ。パロディ化してみたい、新解釈で改变してみたい、自分のアイデアを盛り込んで書き換えてみたい、と思わせる力がある。

オーストリアの天才劇作家フーゴー・フォン・ホフマンスタール(1874—1929)も、その挑戦者の一人だった。彼は弱冠31歳でホフマンスタール版『オイディプス王』を書きあげ、1910年、36歳の時マックス・ラインハルト演出で初演し、大成功を収めた。特に同年11月、ベルリンの5000人劇場(シューマン・サーカス)での上演は、古代劇場の再現を意図したスケールの大ききで画期的な試みとして演劇史に残る。



蜷川幸雄演出『オイディプス王』主演は野村萬斎(2002年・Bunkamuraシアターコクーン)。2004年ギリシャ・アテネでも上演。Photo◎谷古宇正彦

ラインハルトの大胆な演出を可能にしたのは、巨大な演劇空間に耐えうる強度と、観客に熱狂的興奮をもたらすパワーをもつホフマンスタールの台本だった。

しかもこの早熟な天才は、詩聖ソフォクレスがやらなかった『オイディプス三部作』の執筆さえもくろんでいた。テーバイ王として破滅する『オイディプス王』は第二部に当たり、その前段階、故郷コリント時代からテーバイ王になるまでを描いた第一部の『オイディプスとスフィンクス』は、すでに31歳時に初演されていた。だが、その後行き詰まり、オイディプスの死を扱った第三部『コロノスのオイディプス』にはついに着手できず、『三部作』計画は頓挫した。一方、ソフォクレスは同名の作品を仕上げているから、結局、この勝負は引き分けということになるのか。

現代上演版『オイディプス王』。ホフマンスタールの台本を一言で表現すると、この言葉が一番適切だろう。ソフォクレス版(=原作)に比べると、とにかく台詞が短い。ギリシャ悲劇の台詞は、まるで一人芝居かと思うほど長い。主役に至っては、間違えずに言えただけで拍手に値する分量だ。覚えるのも言うのもたいへんだが、聴く方も疲れる。その点、ホフマンスタールの台詞の短さは現代人向きだ。しかも、原作に忠実な省略方法は神業で、原作と読み比べてみないと気づかないほどである。ソフォクレス版を観たことがある人はカットの巧みさを堪能でき、作品自体を初めて観る人はギリシャ悲劇に気軽に触れることができる。

ギリシャ悲劇の重要な登場人物、コロス(群衆役)の台詞もホフマンスタールは最小限にとどめ、また割り台詞を多用して集団の個別化を図っている。コロスの存在にとまどう現代の観客に配慮した合理的な処理といえる。

蜷川演出の群集劇といえば、躍動感あふれる熱狂的パワーが最大の特徴である。そしてドラマティック性が際立つホフマンスタール版は、まるで蜷川演出のために書かれたかのような。例えば冒頭のト書き。「まず舞台の最後部に人間たちの

顔が現われ、やがて彼らは後に続く者たちに押される形で奔流のごとくに舞台へ入って来る。一瞬にして舞台は宮殿の階段まで彼らで埋め尽くされる」。この圧倒的な光景はまさに蜷川演出そのものだ。ギリシャ悲劇にはト書きはない。もちろん、これもホフマンスタールによる改変部分である。

ここで登場するコロスは、原作では「テーバイ市民」だが、ホフマンスタールは「少年や学生から成る若い人々」と限定する。その若者たちが、ペストが猖獗を極める街を背景に叫ぶ。「私たちはまだ若いのです! 王よ、私たちに救ってください!」未来あるネクスト・シアターの俳優たちに、これほどふさわしい作品があるだろうか。ギリシャ悲劇といえば「重い・暗い・遅い」というイメージがあるが、実は、明るく乾いていてテンポが速い。ネクストの若者たちが、ホフマンスタール版を通じて本来のギリシャ悲劇像を示してくれることを期待したい。

ソフォクレス版との最大の違いは、ト書きに照明の指示があることだ。しかも、「月が雲間に隠れた時のような薄暗がり」「鈍い色の空が明ける」など象徴的な表現として照明を効果的に使い、繊細な解釈を可能にしている。台詞にも「ある晩」「太陽が

昇っている」など時刻を示す言葉が加えられ、物語をよりわかりやすく、現代的な印象を与えることに成功している。

ホフマンスタール版はさまざまな面で現代上演向きである。逆に、この舞台を観ると、原作固有の特徴は何か、ギリシャ悲劇の現代上演の問題はどこにあるかを発見できるだろう。



1976年初演の蜷川幸雄演出『オイディプス王』主演は市川染五郎(現・松本幸四郎)(写真提供=東宝演劇部)

Story

疫病が蔓延するテーバイ。オイディプス王は神託を受けるため、妻イオカステの弟クレオンをデルポイの神殿へ送る。クレオンが語る神託は「先王ライオスを殺した犯人を国外追放か死刑に処さない限り、テーバイの復興はない」というものだった。先王殺害の犯人探しに燃えるオイディプスに向かい、預言者テイレスは「オイディプスこそが禍いの元凶」と告げる。怒りに震えたオイディプスは、テイレスを操る裏切り者としてクレオンを非難するが、仲裁に入ったイオカステが先王殺害の経緯を語りはじめると、衝撃の事実が明らかとなる――。



さいたまネクスト・シアター 第4回公演

2013年・蒼白の少年少女たちによる

「オイディプス王」

Οιδίπους
Τύραννος

公演概要

さいたまネクスト・シアター第4回公演
『2013年・蒼白の少年少女たちによる
「オイディプス王」』

日 時：2月14日(木)～24日(日)

2月	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00			★	★		★	★	★		★	★
18:30	★	★	★		休演		★		★	★	

会 場：彩の国さいたま芸術劇場 インサイド・シアター(大ホール内)
※大ホール舞台上の特設客席のため、客席及び椅子の形状が通常とは異なります。
※客席形状が決定次第、財団ホームページにてお知らせいたします。

作 本：ソフォクレス
脚 本：ホフマンスタール
訳 本：小塩 節/前野光弘
演 出：蜷川幸雄
出 演：さいたまネクスト・シアター

チケット(税込) 好評発売中
全席自由 一般 4,000円 メンバーズ 3,600円

いよいよさいたまネクスト・シアターがギリシャ悲劇の傑作に挑戦する。ギリシャ悲劇は「重い」「暗い」というイメージを持たれがちだが、ギリシャ悲劇研究の第一人者・山形治江氏によれば、「明るく乾いていてテンポも速い」ものだとか。今回は、蜷川幸雄が1976年に初演した際のホフマンスタールによる台本を使用することもポイントのひとつだ。ソフォクレスの原作との違い、今回ならではの見どころを山形氏にナビゲートしていただく。

『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』

さいたまゴールド・シアター 熱望を受け、初の海外公演&国内ツアー決定

2006年公演より Photo ©幸田 森

高齢者演劇集団としての
普遍性を世界に問う

2006年の設立以来、年々パワーアップしているさいたまゴールド・シアター。設立当初「55歳以上の団員による演劇集団」が謳い文句だった“高齢化社会の星”は、いまや平均年齢74歳。62歳から最高齢87歳までのメンバー41名は、迫力と自由度を増して意気軒昂である。昨年10月には、エチュード発表会をブラッシュアップさせて上演した“ザ・ファクトリー1”公演「白鳥の歌」『楽屋』も好評を博したばかりだ。

そんな進化し続けるゴールド・シアターの第6回公演として、初の海外公演と国内ツ

アーが決定した。海外公演の行き先はフランス・パリ。30年以上にわたり毎年のように海外公演を行っている蜷川幸雄だが、欧米の中でも実はフランス公演の頻度はそれほど多くない。2002年「夏の夜の夢」パリ公演以来、およそ10年ぶりとなる。

今回選ばれた演目は、2006年に第2回中間発表公演として上演した、清水邦夫作『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』。法廷を占拠した老婆たちのアナーキーな闘争を、フランスの観客はどう受け止めるのか。「古い」と向き合い、人生そのものの中に演劇を見出す日本の高齢者演劇集団の在り方は、現地でも大いに興味を持たれるところだろう。

蜷川はパリ公演に向けて、「世界でも類を

見ない老人の劇団として普遍性を問いたい。老いていくのも自然の過程。セリフを忘れて、歩けなくなったりする姿を含めて、彼らにとっては演劇という行為が人生の在り方そのものでもある」と語っている。家庭の事情や健康上の理由で海外公演には参加できない者も想定されるが、蜷川はメンバーたちに「みんな元気で。なんとかそれまで生き延びてね」と呼びかけた。「すごいなあ、ブルブルしちゃいますね」と武者震いする声も挙がり、メンバーたちの顔は晴れ舞台を前に希望に満ちている。

埼玉公演、パリ公演を経て、帰国後の“凱旋公演”は神奈川と熊谷で行われる。彼らの現在形をお見逃しなく！

公演概要

さいたまゴールド・シアター 第6回公演
『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』

作 清水邦夫
演 出 蜷川幸雄
出 演 さいたまゴールド・シアター、さいたまネクスト・シアター

◎埼玉公演
日程：5月16日(木)～19日(日)
会場：彩の国さいたま芸術劇場 大稽古場

◎神奈川公演
日程：6月15日(土)～16日(日)
会場：KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ

◎パリ公演
日程：5月30日(木)～6月1日(土)
会場：パリ日本文化会館 大ホール

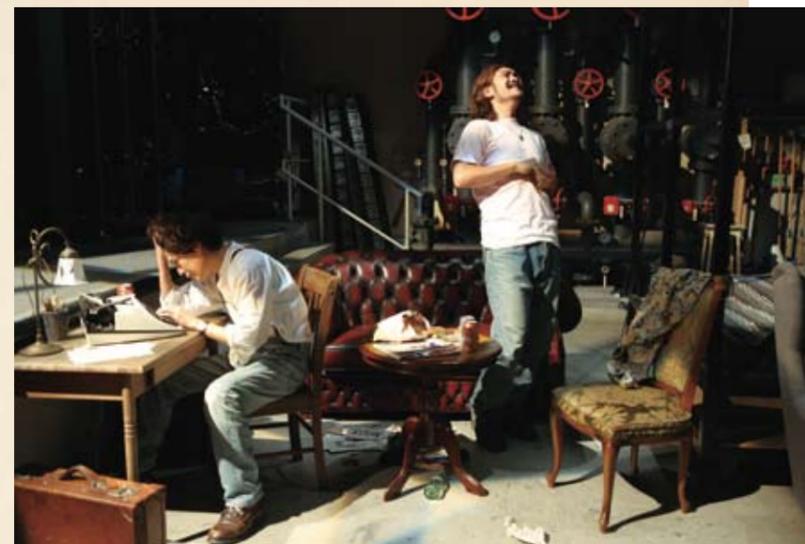
◎熊谷公演
日程：6月22日(土)～23日(日)
会場：大里生涯学習センターあすなっくす ホール



メンバーにパリ公演への抱負を語る蜷川幸雄



『火刑』演出：蜷川幸雄



『ロング・グッドバイ』演出：蜷川幸雄

“ザ・ファクトリー2” さいたまネクスト・シアター テネシー・ウィリアムズ一幕劇集連続上演

Photo ©宮川舞子

劇場内すべてが上演場所となる新しい表現活動“ザ・ファクトリー”。その第2弾として、11月22日から25日まで、さいたまネクスト・シアターによる『テネシー・ウィリアムズ一幕劇集連続上演』が行われた。

各回限定50人の観客は、まず小ホールの客席に集合。そこから係員の誘導で4作品それぞれの上演場所に移動する趣向だ。

1本目は小ホール奥の狭い工房で行われた『話してくれ、雨のように……』。蜷川幸雄の演出助手を務める藤田俊太郎が、物憂げな男(堀源起)と女(土井睦月子)の孤独を、激しさを増す雨音につづけるように描

き出した。2本目『財産没収』の上演場所は吹き抜けの廊下。観客は1本のレールの両脇から眺める。演出は“ザ・ファクトリー1”も手がけた井上尊晶。少女(白川美波)の明るい狂気に言葉が失う内気な少年(内田健司)。幼い絶望が痛々しい。3、4本目の演出は蜷川幸雄が担当。圧巻は小ホール隅の階段を利用した『火刑』だ。年老いた母(周本絵梨香)と息子(小久保寿人)の激しい口論、猛火のごとき苛立ちが、ひんやりとした空間を炎に包まれたドラマティックな劇空間へと変貌させた。最後は小ホールの搬入口で行われた『ロング・グッドバイ』。テネ

シー・ウィリアムズの自伝的要素も見られる追憶の断片を、小説家(川口 寛)と友人(松田慎也)、追憶の母(茂手木桜子)や妹(長内映里香)、その恋人(隼太)が繊細に紡ぎ出す。完成度の高い一幕となった。

俳優と戯曲があれば、どんな場所でも「劇場」になることを実証した“ザ・ファクトリー”。テネシー・ウィリアムズのセリフに全力で挑む俳優たちの汗も息づかいも間近で感じられ、彼らの迸る熱量に圧倒された。美術、照明、音響などスタッフワークも手を抜かない刺激的かつ挑戦的試みは、ネクスト・シアターの新たな財産になるだろう。

『財産没収』演出：井上尊晶



『話してくれ、雨のように……』演出：藤田俊太郎





ダンスラインナップ上半期 2013.5-10 Dance Lineup

彩の国さいたま芸術劇場が自信を持ってお届けするダンス公演！
上半期はおなじみコンドルズ、待望のカンパニー・マギー・マラン来日公演、
dancetoday シリーズには、新作を携え
関かおり、そして島地保武と酒井はなが初登場する。

コンドルズ 埼玉公演 2013 新作

毎年恒例、さいたま7度目の登場となるコンドルズ。なんといっても注目は、学ラン姿の男性たちがステージいっぱいに繰り広げるダンス。近藤良平独特の遊びに遊びを重ねた動きとカラダ術だ。眩いライトと爆音ロックを跳ね返すアツと驚く勢いで、歓声も、躊躇いも、怒りもすべてをダンスに変換して熱くなるステージ。そして彼らのアイディアの宝庫からは、細やかで大胆な人形劇や映像、ゆるい小ネタに溢れたコントや生演奏も同時に展開する。コンドルズは、数々の振付・演出を手がける近藤良平をはじめ、メンバー全員が多彩でアーティストック。

ダンサーであってダンサーでない、体格も年齢もバラバラな顔ぶれだ。コンドルズと並行するバンドプロジェクト・ストライクで活動するミュージシャン、役者、バーのマスター、ヨガ講師、大学教授、予備校教師、美術教師……と実は先生も多い！！シャープに踊れる人も踊れない人も混ざった、デコボコな個性が勢揃いすると、子供心も大人心もくすぐる、時に懐かしいドキドキ感が広がっていく。一度観たら虜になること間違いなしのコンドルズ！2012年『十二年の怒れる男』に続く2013年新作、どうぞお楽しみに！

マギー・マラン 『Salvesーサルヴズ』

コンテンポラリー・ダンスの旗手として、フランスを拠点に1970年代から数々の衝撃作を発表し続ける、振付家マギー・マラン。1986年、『メイ・B』(1981年)で初来日、ダンスと演劇の両陣営に旋風を巻き起こした。様々な振付スタイルに挑みながら、常にマランの創作の中心にあるのは、過酷な状況に生きる人々へのまなざし。マランの作品は、現代社会に対する鋭い洞察、そこから導かれたリアル

公演概要

日 時：6月15日(土)、16(日) 各日開演15:00
会 場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
演出・振付：マギー・マラン
出 演：カンパニー・マギー・マラン

チケット(税込)
一 般：S席5,000円/A席3,500円(学生2,500円)
メンバーズ：S席4,500円/A席3,200円
※A席サイドバルコニーのお席は、舞台の一部が見切れます。
予めご了承ください。

発 売 日：一般 3月2日(土) メンバーズ 2月23日(土)



マギー・マラン『サルヴズ』 Photo © Jean-pierre Maurin

な世界。鳴り響く銃声、爆発音、入り乱れる物と人々。絶望的にさえ見える光景、にもかかわらずマランは決して敗北を認めない。人はただ存在することによって、その歴史に、小さな亀裂を生じさせることができる。『サルヴズ』が描くのは、落ちていくなかで、意図せず発揮される希望。マギー・マランは、ペシミズムを積極的に動員し、あるがままの人間の姿に望みを託す。希望への戦いを止めないアーティストの話題作。



島地保武、酒井はな『PSYCHE』 Photo ©瀬戸秀美



関かおり『マアモンド』 Photo ©松本和幸

dancetoday2013

2009年に始動した彩の国さいたま芸術劇場 (dancetoday) シリーズ。国内外で活躍する若手振付家やダンサーたちが取り組む、実験的な作品に触れる企画だ。これまで5組のアーティストにより、小劇場の親密な舞台空間ならではの表現が生み出された。3年振りとなる2013年秋シリーズ第3弾は、関かおり、そして島地保武+酒井はなの2組のアーティストによる新作のダブルビルで再開する。

関かおりは03年より自作を発表し、08年ソロ作品『ゆきちゃん』でSTスポット「ラボ・アワード受賞」、12年には、岩渕貞太との作品『Hetero』により横浜ダンス

コレクションEX 2012「若手振付家のための在日フランス大使館賞」、また『マアモンド』でトヨタコレオグラフィアワード2012「次代を担う振付家賞」を受賞。肌触りや微かな香りまで取り入れた五感に訴えるダンスに取り組んできている。

もう一組は、ドイツ・フランクフルトのザ・フォーサイズ・カンパニーで活躍し、国内でも精力的に創作活動を行う島地保武と、クラシック・バレエを超えて類稀な表現力でコンテンポラリー作品でも存在感を示す、日本を代表するバレエダンサー酒井はな。両名の共同振付による新作をお届けする。

公演概要

新作(タイトル未定)	新作(タイトル未定)
振付・演出：関かおり	演 出：島地保武
出 演：関かおり ほか	振 付：島地保武、酒井はな
	出 演：酒井はな、島地保武

日 程：10月18日(金)～20日(日)
会 場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

発 売 日：7月予定

バッハ・コレギウム・ジャパン バッハ《ヨハネ受難曲》

《マタイ受難曲》はこれまでに7回演奏して来たバッハ・コレギウム・ジャパンだが待望の《ヨハネ受難曲》がついに彩の国さいたま芸術劇場にて上演されることとなった。鈴木雅明、バッハ・コレギウム・ジャパン、気鋭のソリストたちが紡ぎだす音世界に身を委ね、豊かな芸術体験をしたい。

604席に座れた 幸運な人のみが味わう 至福のひととき

文◎加藤拓未（音楽学）

鈴木雅明が率いるバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)は、これまで彩の国さいたま芸術劇場で、バッハの《マタイ受難曲》(BWV244)を7回演奏してきた。現存しているバッハの受難曲は2曲あるが、今回はもうひとつの《ヨハネ受難曲》(BWV245)がBCJの極上の演奏によって、ついにこの劇場にもお目見えする。

鈴木はこれまでの演奏活動が認められ、2012年6月にバッハの街であるライプツィヒ市より、バッハ・メダルを授与された（日本人初受賞）。受賞記念演奏会で、BCJはバッハの《マタイ受難曲》（初期稿）を披露したが、その演奏の出来映えは本場ドイツのバッハ通をも唸らせたという。

Photo ◎ Marco Borggreve



それから10カ月。躍進を続ける鈴木とBCJは、今、どのような演奏を聴かせてくれるだろうか？

受難曲とは？

受難曲とは、イエス・キリストの「十字架刑と死」を描いた聖書の物語にもとづく音楽作品のこと。イエス（紀元前4年頃～紀元後30年頃）は、1世紀初頭に活躍したとされる宗教家で、ユダヤ教のなかの一つの流派の指導者であった。

イエスの人気は民衆の間で高まったが、彼の説いた考えは、時として伝統的な教義にそぐわないことがあり、それが神殿当局や当時エルサレムを支配していたローマ側の地域支配者の目には、危険な存在として映った。

ついにイエスはエルサレムの郊外で逮捕され、ユダヤ人当局者によってローマ側に引き渡され、総督ピラトの裁判の結果、公共の秩序を乱すものとして十字架刑による死刑に処された。こうしたイエスの悲劇的な死を伝える物語が、聖書のなかの4つ文書（マタイ福音書、マルコ福音書、ルカ福音書、ヨハネ福音書）に収録されている。そして、この物語をもとに作曲した音楽が「受難曲」というわけである。

Photo ◎ GNTB/Jochen Keute



バッハと《ヨハネ受難曲》

バッハは1685年3月21日にドイツ中部のアイゼナハで生まれた。バッハ一族は代々、音楽家の家系で、各地の教会や宮廷に複数のオルガン奏者や音楽師を輩出していた。バッハもその伝統を受け継ぎ、18歳から教会音楽家としてキャリアをスタートさせている。4回の転職を経て1723年5月にバッハは、ライプツィヒの聖トーマス教会カントルおよび同市音楽監督に就任した。そして、この街がバッハの終の棲家となったのである。

ライプツィヒにおけるバッハの主な仕事は、毎週末に行われる礼拝のための教会音楽を作曲・演奏することであった。特にイエスの復活を祝う「復活祭」の直前の金曜日は「聖金曜日」と呼ばれ、この日の午後の礼拝では、十字架上で死去したイエスを偲ぶために受難曲を演奏することになっていた。

バッハは着任して最初の聖金曜日を1724年4月に迎え、このとき『ヨハネ福音書』の受難物語を音楽化しようと決意する。こうして誕生したのが、《ヨハネ受難曲》である。初演は1724年4月7日、ライプツィヒの聖ニコライ教会で行われた。

Photo ◎加藤英弘



公演概要

バッハ・コレギウム・ジャパン 《ヨハネ受難曲》

日時：3月30日(土) 開演16:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出演：鈴木雅明(指揮)、ジョアン・ラン(ソプラノ)、青木洋也(カウンターテナー)、ゲルト・テュルク(テノール)、ドミニク・ヴェルナー(バス)、バッハ・コレギウム・ジャパン(合唱・管弦楽)

チケット(税込) 好評発売中
一般：正面席8,500円
バルコニー席7,000円(学生3,000円)
メンバーズ：正面席8,000円

《ヨハネ受難曲》の聴きどころ

バッハの《ヨハネ受難曲》には複数のヴァージョン（稿）が存在する。今回は一般に広く知られる「新バッハ全集版」による演奏。当時の礼拝では、途中で牧師の説教を挟んで演奏したため、受難曲は前半と後半の二部で構成されている。

聴きどころといえば、まずは作品の冒頭を飾る大規模な合唱曲である。うねるようなヴァイオリンの音型の上を、きしむようなオーボエの不協和音が響きわたり、不安に満ちた音楽でこの曲ははじまる。やがて「主よ、主よ、主よ」と3回叫ぶ合唱が加わり、イエス・キリストの受難の意義を切々と説いてゆく。その迫力のサウンドに、一瞬にしてバッハの音楽世界へと巻きこまれてゆくことだろう。対照的に、作品の末尾に配されている合唱曲は、イエスの墓前で歌われる祈りの歌で、安らかな眠りへと誘う子守歌のような音楽が、壮絶な物語のラストを締めくくる。

この二つの見事な合唱曲に縁取られ、ストーリーテラーである福音史家(テノール)によって、イエスの最期の一日が雄弁に語られてゆく——イエスは死の前夜に逮捕され、翌日早朝に裁判が行われ、午前中に刑が執行される。そして午後になってイエスは死去し、夕方には埋葬が終わる——こうした一連の事件が、実に24時間に満たない濃密なテンポで展開される。

主人公であるイエスはバス歌手が威厳をもって歌い上げ、合唱は「群衆の声」と祈りの賛美歌である「コラール」を担当する。《ヨハネ受難曲》では合唱曲が重要な役割を演じるので、それをBCJの精緻で緊密なアンサンブルによって味わえることは嬉しい。

物語の要所で、その場面に對しコメントを述べる独唱曲(アリアなど)が10曲挿入されている。いずれも劣らぬ素晴らしい音楽であるが、これらをイギリスの歌姫ジョアン・ラン、日本を代表するカウンターテナーの青木洋也、ドイツにおける福音史家の第一人者ゲルト・テュルク、そして力強いイエスを演じるドミニク・ヴェルナーと、BCJのCDでもお馴染みの布陣で演奏してくれる。

鈴木雅明とBCJが紡ぎ出す、新たな《ヨハネ受難曲》の姿に刮目したい。

ピアノ・エトワール・シリーズ

未来の巨匠に会えるピアノ・エトワール・シリーズ。輝くエトワール（星）を目指す新鋭ピアニストたちの中から特に注目すべき若手演奏家が揃った。また、このシリーズに登場したピアニストと再会できる「アンコール！」のシリーズも始まり、どれも聴き逃さない公演ばかりだ。

新しいラインナップ揃う

文◎那須田 務 (音楽評論家)

ピアノ・エトワール・シリーズ
に期待

数年前、来日中のアルド・チッコリーニにインタビューした。ロン・ティボー・コンクールに優勝してナポリからパリにやってきたのは20歳の時のことで、その折にはロンやコルトー、文学者のコクトーやジイドら錚々たる芸術家が親身になって世話をしてくれたと話してくれた。それには本当に感謝している。だからこそ、私は若く才能のある音楽家を支援したいし、若い音楽家と聴衆を育てなければ、クラシックの未来はない。しかし、今日のクラシック音楽を巡る状況は大変に悲観的で、とくにヨーロッパでは文化全般に対する関心が失われているのは本当に残念でならない。そして、年齢80を超えた老巨匠はこのように締め括った。「そのうちに西洋ではクラシック音楽は廃れ、日本とアジアがその保護者になるだろう」。若い音楽家を主役としたピアノ・エトワール・シリーズや今回のラインナップはまさにこの時のチッコリーニの言葉を思い起こさせる。

ところで、筆者は『レコード芸術』の器

楽部門の月評を担当し、毎月のように国内盤の器楽曲（大部分がピアノの独奏曲）のCDを聴き、感想を書いているが、若い才能のあるピアニストを知った時の喜びはひとしおである。今回の4人もこのようにして出会った。

Vol.21 ユジャ・ワン

Yuja Wang

ユジャ・ワンを最初に聴いたのは、2009年のドイツの名門レーベルドイツ・グラモフォン (DG) へのデビュー盤『ソナタ&エチュード』。ショパンのピアノ・ソナタ第2番第1楽章の、身体のパネを感じさせる力強くしなやかなリズムと大らかなフレーズに只者ではない身体能力の高さとピアニストとしての可能性を感じたものだ。リゲティの《練習曲》という選曲もさることながら、その演奏がまた抜群の面白さだった。ワンはその後毎年のように新作を発表していき、昨年6月に発売された『ファンタジア』(DG)で、音楽家としての成長を印象づけた。ラフマニノフとスクリャービンを中心に、ヴィルトゥオジティの魅力に富んだロマンティックな作品を集めたアルバムで、ここでも目も覚めるような技巧と大陸的な

スケールの演奏を聴かせている。しかしながらワンの魅力はこうした音楽のダイナミズムだけではない。《精霊の踊り》の心に沁みわたるような静謐なロマンティズムなどは他では聴けない特別な味わいがある。今年25歳になるというが、確実に世界のクラシックを盛り上げてくれる大器であることは間違いない。今回のコンサートでもさらにパワーアップした演奏が聴けるだろう。

Vol.22 リーズ・ドウ・ラ・サール

Lise de la Salle

フランスはパリ音楽院を出た天才少女を輩出してきたが、最近ではなんとこれもこのドウ・ラ・サール。興味深いのは、ドイツ系ロシア系のレパートリーを得意とすることで、その点で同郷のピアニスト、グリモーに似ている。彼女のピアニズムの特徴をひとことではいえず、フレンチ・ピアニズムの美質である、ピアノから多彩な音色を引き出すソノリテの技術と豊かな想像力を駆使した音色の選択、そしてまた、ロシアやドイツ音楽にふさわしい力強いダイナミズムであろうか。美しく澄んだタッチ然り。リストの小品を集めた最新盤（ナイーヴ）でこうした彼女

の魅力に触れることができる。燃え立つような情念とともに奏でられた《ダンテを読んで》や壮麗な音楽劇のごとき《バラード》など聴き所が多い。今回のエトワール・シリーズでは得意のロシア音楽に加えて、ラヴェルの《鏡》、ドビュッシーの《前奏曲集》1、2巻からの抜粋が予定されている。ドビュッシーは未録音だけにどのような演奏を聴かせてくれるか楽しみだ。

Vol.23 大崎結真

Yuma Ohsaki

大崎結真といえば、昨年リリースされた『深碧のラヴェル』(アクスティカ)。《夜のガスパール》や《水の戯れ》《ラ・ヴァルス》などラヴェルの名曲で編まれたアルバムだが、一聴して驚いた。優秀な若い邦人ピアニストのフランス音楽というと、音色のコントロールは見事だが、小さく纏めてしまう人が多いのに、《夜のガスパール》などは大変にスケールが大きくて生き生きとしたスピリットを感じさせる。透徹したタッチでどのフレーズも強いオーラを放ち、表現の彫が深く、^{まばゆ}眩いばかりの光に満ちたサウンドを生み出している。《ソナチネ》も才気滂発にして緩急自在。一台版の《ラ・ヴァルス》もイマジ

ネーション豊かな秀演だ。フランスの多彩な音色と日本人離れしたスケールを持った大型新人である。今回はフランス近現代のラヴェルとデュティユーというなれば大崎の最も得意とする演目である。大いに期待したい。

アンコール! Vol.2 北村朋幹

Tomoki Kitamura

「アンコール！」に登場する北村朋幹についても述べておこう。2011年2月にリリースされた『遥かなる恋人に寄す〜シューマンからの展望』(フォンテック)は、北村の知性と個性的な音楽世界を示してあまりある好アルバムだった。ベートーヴェンの歌曲集《遥かなる恋人に寄す》のリスト編曲というのも珍しいが、シューマンを軸にベートーヴェン、リスト、クララ・シューマンを結び合わせたプログラムそのものが大変に興味深い。シューマンの《ベートーヴェンの主題による変奏曲》では独自の曲順を試みているし、《幻想曲 ハ長調》は情熱と夢、ロマンティズムが率直に表現された好演だった。この時はまだ東京藝術大学1年生。この若さでピアノの腕がいいというだけでなく、すでに独自の音楽世界を持って

いることに驚きを禁じ得ない。それが2年前のこと。今回のコンサートではスクリャービンとベートーヴェンの大作「ハンマークラヴィーア」を弾くというから、こちらも目が離せない。

Profile

ユジャ・ワン Yuja Wang

自由奔放さ、既に成熟したアーティストとしての精密さと存在感で世界中の人々を魅了。アバドやデュトワなどの一流指揮者から一目置かれている。ドイツ・グラモフォンと専属契約、そのCDはグラミー賞にもノミネート。

リーズ・ドウ・ラ・サール Lise de la Salle

シェルブール生まれ。パリ国立高等音楽院・同大学院課程に学ぶ。昨年のPMFオーケストラとの共演は「今後フランスを代表するピアニストに成長することだろう」と絶賛された。naiveレーベルからCDを現在までに7枚リリース。

大崎結真 Yuma Ohsaki

パリ国立高等音楽院大学院、パリ・エコール・ノルマル音楽院コンサーティスト課程修了。浜松、ロン＝ティボー、ルービンシュタイン、ピラール・バヨナ、ジュネーヴ、リーズ、ショパンなど、主要国際コンクールで多数の入賞歴を持つ。

北村朋幹 Tomoki Kitamura

1991年生まれ。2005年東京音楽コンクール第1位・審査員大賞(全部門共通)受賞以来、国内外での演奏会、日本でのテレビ・ラジオへの出演を重ねる。11年には有望のソロ・デビューCDをリリース。現在、ベルリン芸術大学在学中。

Photo◎ Felix Broede/DG

公演概要

Vol.21 ユジャ・ワン

日 時：4月20日(土) 開演14:00
会 場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲 目：ドビュッシー／ピアノのために
スクリャービン／ソナタ第6番 長調 作品62
ラヴェル／ラ・ヴァルス
ラフマニノフ／《幻想小品集》より 第1番(エレジー)
メンデルスゾーン(ラフマニノフ編曲)／《真夏の夜の夢》より スケルツォ
ラフマニノフ／楽興の時 第4番 水短調
リーパーマン／ガーゴイル 作品29
ラフマニノフ／ソナタ第2番 変ロ短調 作品36 (1931年改訂版)

Photo◎ Lynn Goldsmith

Vol.22 リーズ・ドウ・ラ・サール

日 時：5月26日(日) 開演15:00
会 場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲 目：ラヴェル／鏡
ドビュッシー／《前奏曲集》より 〈音と香りは夕べの大自然の中に漂う〉、
〈妖精たちはあでやかな舞姫〉、〈帆〉、〈花火〉、
〈亜麻色の髪の乙女〉、〈西風の見たもの〉
プロコフィエフ／ピアノ・ソナタ第3番 イ短調 作品28「古い手帳から」
プロコフィエフ／《バレエ「ロメオとジュリエット」からの10の小品》
作品75より〈少女ジュリエット〉、〈メヌエット〉、
〈仮面舞踏会〉、〈モンタギュー家とキャピュレット家〉、
〈マキューシオ〉、〈別れの前のロメオとジュリエット〉
プロコフィエフ／トッカータ 作品11

Vol.23 大崎結真

日 時：12月1日(日) 開演14:00
会 場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲 目：ラヴェル／水の戯れ
ラヴェル／夜のガスパール
デュティユー／ピアノ・ソナタ ほか

アンコール! Vol.2 北村朋幹

日 時：2014年3月15日(土) 開演14:00
会 場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲 目：スクリャービン／ソナタ第10番 作品70
ベートーヴェン／ソナタ第29番 変ロ長調 作品106
「ハンマークラヴィーア」ほか

チケット(税込)

【4回セット券】 一般・メンバーズ：正面席13,000円/バルコニー席11,000円(学生4,500円) 発 売 日：Vol.22 一般2月2日(土) メンバーズ1月26日(土)
Vol.23 一般5月25日(土) メンバーズ5月18日(土)
アンコール! Vol.2 一般10月19日(土) メンバーズ10月12日(土)
【1回券】 [Vol.21]
一 般：正面席4,500円/バルコニー席3,500円(学生1,500円)
メンバーズ：正面席4,100円
[Vol.22 ~ Vol.23、アンコール! Vol.2]
一 般：正面席3,500円/バルコニー席2,500円(学生1,000円)
メンバーズ：正面席3,200円

※4公演セット券、Vol.21の1回券は好評発売中。バルコニー席・学生席は残席僅少。

2013.4.-2014.3. Music Lineup

「ピアノ・エトワール・シリーズ」など好評のシリーズも充実。さらに、ヴェルディ生誕200年記念ガラ公演や世界トップアーティストのリサイタルなど珠玉のラインナップ。

彩の国さいたま芸術劇場

4.20 (土)

ピアノ・エトワール・シリーズ
Vol.21 ユジャ・ワン

5.26 (日)

ピアノ・エトワール・シリーズ
Vol.22 リーズ・ドウ・ラ・サール

9.28 (土)

ベルリン・フィルハーモニー
木管五重奏団



10.19 (土)

マレイ・ペライア
ピアノ・リサイタル



Photo © Felix Broede

11.3 (日)

イザベル・ファウスト
バッハ《無伴奏ヴァイオリンのための
ソナタとパルティータ》全曲演奏会



Photo © Felix Broede

11.10 (日)

ヴェルディ生誕200年記念
ヴェルディ・ガラ・コンサート

横山恵子 sop. 清水華澄 mez. 福井 敬 ten.
福島明也 bar. 谷池重軸子 pf.



福井 敬

12.1 (日)

ピアノ・エトワール・シリーズ
Vol.23 大崎結真

家族で楽しみたい、気軽に楽しみたい方に
オススメのコンサート

～子どもも大人も、ご家族そろってオーケストラ・サウンドを
楽しんでいただけるコンサート～

夏休みオーケストラランド!

8.24 (土)

埼玉会館ファミリー・クラシック

8.25 (日)

熊谷会館ファミリー・クラシック

飯森範親 cond. 朝岡 聡 MC
東京交響楽団 ソリスト未定



Photo © 加藤英弘

～ポジティブ・オルガンと、器楽・声楽とのアンサンブルで
お届けするミニ・コンサート～

光の庭プロムナード・コンサート

5.18(土)、6.29(土)、8.3(土) 夏休みスペシャル、10.26(土)、11.16(土)、
12.21(土) トワイライト・スペシャル、2014.1.18(土)、3.29(土)
各回14:00～14:40(12月のみ17:00～17:40)
会場：彩の国さいたま芸術劇場 1階 情報プラザ ※入場無料

12.7 (土)

バッハ・コレギウム・ジャパン
モーツァルト《レクイエム》

鈴木雅明 cond. キャロリン・サンブソン sop.
マリアンネ・ペアーテ・キーラント alt.
アンドリュウ・ケネディ ten.
クリスティアン・イムラー bas.



Photo © Marco Borggreve

2014.3.1 (土)

村治佳織の現在
Vol.2 オール・テデスコ・プログラム

漆原啓子 vn. 川本嘉子 va.
向山佳絵子 vc. 加藤昌則 pf. ほか



Photo © Kiyotaka Saito

2014.3.15 (土)

ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール!
Vol.2 北村朋幹

*ピアノ・エトワール・シリーズ
“未来の巨匠”たちの旬を、意欲的なプログラム
でお聴きいただくピアノ・リサイタル・シリーズ。
過去のシリーズ出演者が再登場する「アンコー
ル！」シリーズも。(詳細はP.14～15にて)

*現在シリーズ
めざましい活躍をみせる
トップ・アーティストが3
年にわたって繰り広げる、
彩の国のオリジナル企画。

埼玉会館

10.5 (土)

NHK交響楽団

秋山和慶 cond. 伊藤 恵 pf.



秋山和慶



伊藤 恵

2014.1.11 (土)

埼玉会館ニューイヤー・
コンサート2014

新日本フィルハーモニー交響楽団
小泉和裕 cond. 中島彰子 sop.
中井美穂 MC



小泉和裕



中島彰子

打楽器ワークショップ
「キミもパーカッショニスト!」

昨年11月、埼玉会館で打楽器の魅力を感じていただけるファミリー・コンサート

「パーカッション★パラダイス」が開催された。

コンサート前には、打楽器のトップ奏者たちによるワークショップが開かれ、小中学生30人が参加した。

Photo © 加藤英弘

大小様々な打楽器がずらりと並んだ舞台上に30名の参加者が集まった。打楽器を教えるのは、大編成打楽器・マリンパオーケストラ「パーカッションミュージアム」のメンバー。ワークショップの成果は、その後のコンサートで披露されることになっており、演奏する《ティコ・ティコ》は、明るくユニークなサンバのリズムが特徴的なノリのいい曲だ。

まずは準備運動

「打楽器で大事なことのひとつは姿勢です。腕や手を楽に動かすために、足や腰から姿勢を作ることが必要なんです。現代の子どもたちは、体を動かす機会が少ないせいか、姿勢が悪くて体が硬い子が多いので、まずは体を動かして力を抜くことから始めました」と話すのはワークショップの構成を担当した横田大司。ジャンプをして首や腕をまわし、体から余計な力が抜けていくと同時に、緊張気味の顔も少しずつほぐれてくる。そして楽器を叩いてリレーの



全員で音を合わせるアンサンブルの練習

アンケート

- たいこの音にびっくりしました。
- ふだんさわれない楽器にたくさんさわれたので楽しかった。
- いろいろな楽器の音と合わせて、ふれることができた。
- みんなであわせたところがおもしろかったです。



コンサート本番。会場の全員で《ティコ・ティコ》を演奏

ようにリズムを繰り返す練習をしたら、いよいよ《ティコ・ティコ》に挑戦。

楽器を選んで、さあ練習

用意されたのは、中型ドラムの「トムトム」、皮の張られていないタンバリン「モンキータンバリン」、さらびやかな高音が響く「アゴゴベル」、砂状のものが入った容器をリズムよく振って音を出す「シェイカー」、おなじみの「マラカス」の5種類。楽器の構え方や音の出し方を手取り足取り教わる。「叩いて音を出す楽器は、打面を基準にタイミングが測れますが、シェイカーのように振って音を出す楽器は、音の出る点を決めたり、タイミングを合わせることも、慣れるまでは難しいかもしれません」(横田)と、小刻みに腕を前後に振る「シェイカー」は慣れるまで少し苦労している様子だ。最後は全員でアンサンブル。行進曲と同じ2拍子のリズムは簡単なようで、意外と難しい。テンポが速くなりながらも、段々と周りの音に耳を傾けられるよ

うになり、全員の音が合ってきた。

いよいよ本番

大勢の観客を前に、元気いっぱい演奏がスタート。途中から「パーカッションミュージアム」のメンバーも演奏に参加し、子どもたちが奏する2拍子のリズムを軸に、色とりどりの音色と細かなリズムが加わり、賑やかで迫力いっぱいの演奏となった。客席も手拍子で参加し、大盛り上がるのうちに締めくくられた。

「楽器があって、子どもに熱意があっても、きちんとした使い方を教わる機会がなかなかなくて残念に思うこともあります」(横田)。タンバリンやトライアングルなど、簡単に音を出すことができ、授業で使われることも多い打楽器だが、プロが奏する音の輝きは別格。そんな彼らに「一から教わるのはとても貴重な時間だ。そして何よりみんな演奏して楽しんだ時間は、音楽の素晴らしさを十二分に味わえた経験となったに違いない。」

Makoto Ozono

ジャズ・ピアニスト 小曾根 真

ついに「現在」シリーズ最終章を迎える小曾根 真。国境も年齢も性別も超え、聴く者とことん楽しませる達人は、自らが楽しむ達人でもある。そんな彼の現在を形づくった原点とは？

取材・文◎山下シオン(ジャーナリスト)



Photo © Kiyotaka Saito

「楽しまなけりや意味がない。レッツ・プレイ！」

「デキシーランド」は楽しい

僕の音楽との出会いは、デキシーランドを聴いて楽しかったという体験に遡る。そのきっかけを作ってくれたのが、ほかでもない僕の父・小曾根 実だ。僕が3歳くらいだった頃、ジャズ・ピアニストとして活動していた父は、人気テレビ番組の「11PM」に出演していたが、週末になると「オリジナル・デキシーランド・ハート・ウォーマーズ」というバンドで演奏していた。トランペッターの右近雅夫さんが率いていたバンドで、右近さんは、神戸に来日したときにその演奏を聴いたレイ・アームストロングから「マイ・ボーイ」といわれたほどの人物だ。父はこのバンドに大学時代から参加していた。

毎週土曜日、芦屋にあった仏教会館という古い建物には、右近さんや父のほかに、テレビ局のディレクターや建設会社に勤めている人など、いろんな仕事に携わるメンバーが集まった。客を集めて聴いてもらうわけでもなく、ただ、ドンチャカドンチャカとデキシーを合わせて帰るだけ。それを聴くのが、楽しかった。とにかく楽しかったのだ。



Hammondオルガン奏者の第一人者でもあった父の影響で、4歳でオルガンを始める。神戸そごう店で定期的に演奏していたことも。

たのだ。おそらく、聴いているうちに楽しくなって音楽を始めた人も多かっただろう。あの時代のジャズには、無条件に人をハッピーにしてくれる力があつた。中には楽譜の読めないミュージシャンも多かったけれど、彼らは音楽に対して謙虚だったし、だからこそ「自分ならこう弾きたい」とか、「こう吹きたいとか」といった自分の表現としての「音楽の言葉」が生まれてきたのだと思う。僕はそんなデキシーランドを聴きながら、本物のスイングにはまると気持ちがいいことや音楽の楽しさを覚えたのだと思う。

音楽にはジョイがある

僕が教鞭を執っている大学1年生の1回目の授業では、デキシーランドを扱うことにしている。ところが、モダンなものから入ってきた学生は、デキシーランドという最もJAZZの基盤になる音楽が演奏できなかった。

そこで僕がドラムを叩くと、すぐさま納得するのだが、彼らは音楽的な解釈やテクニックばかりを見ている。「どう演奏するかではなく、これを聴いたときの自分の高揚感と向き合ごらん」と僕はいう。どうやったら自分が「楽しい！」と思える音楽を表現できるかということが、大切だからだ。

英語で「演奏する？」と聞かれると「レッツ・プレイ」と答える。そもそも「プレイ」という言葉の意味自体が、ともに「遊ぶ」ということ。プレイヤーたちが楽しんでいれば、お客さんたちも楽しめる。目を合わせながら次にどういう方向に向かっていくのか、音で会話する。その緊張感がたまらない。聴いている人も「何かが起こっている」ことは、感じるはずだ。老若男女、肌の色、言葉など関係なく、それを聴いた瞬間気持ちがいい。デキシーランドが教えてくれたこの感覚こそ、僕の原点がある。

おぞね・まこと 12歳でオスカー・ピーターソンの演奏を聴きジャズ・ピアノを学び始める。1983年バークリー音大ジャズ専攻・編曲科を首席で卒業。同年カーネギーホールでリサイタルを開き、米CBSと日本人初の専属契約を結び「OZONE」で世界デビュー。2003年第45回グラミー賞ノミネート。ジャズの最前線で活躍する一方、ショパンの名曲に独自の即興を加えたソロリサイタルや、国内外のオーケストラとも共演を重ね、クラシック音楽界でも高い評価を得ている。また、舞台音楽やテレビ番組のサウンドトラックを手がけるほか、FM番組のパーソナリティーを長年務めるなど、ジャンルを超えて幅広く活躍している。現在、国立音楽大学(演奏学科ジャズ専修)教授。公式HP: <http://makotoozono.com>

column

オスカー・ピーターソンが導いたピアノとの再会

ピアノを習うと必ず練習する教則本『バイエル』。5歳のときに一度レッスンを受けたが、弾いていてもまったく楽しくなかったの、すぐにやめた。小さい頃から好きな曲は耳で聴いて覚えた。その方が楽しい。だから当時は楽譜が読めず、ピアノより Hammondオルガンを弾くことが多かった。12歳でオスカー・ピーターソンの演奏を聴いて開眼し、ジャズ・ピアノを始める決心をする。それをきっかけにクラシック音楽を一年間学んだ。

REVIEW 2012.11-12

彩の国のアーツ

DANCE 11月23日~24日

バットシェバ舞踊団『Sadeh21—サデ21』



前評判の高さに違わぬ素晴らしい身体による叙事詩を披露してくれた。鍛えられ磨き上げられた肉体が繰り出すムーヴメントは、観る者に豊かなイメージを喚起させる。特にこのカンパニーのダンサーたちは研ぎすまされた感性そのままのよう、見たことのないような高機能的な動きを自在にするので心を揺さぶられてしまうのだ。ただダンスの楽しさを堪能するだけでなく多層的な構造のこの作品、重くて深い問いかけがなされていたことに終演後、気づかされた。フライング・イーノ&ハロルド・バッドやデヴィッド・ダーリングの曲を使用するなど選曲のセンスも秀逸。魂が浄化されるような、美しい体験をすることができた。

Photo © Matron

MUSIC 11月25日

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.20 河村尚子



包み込む温かさが魅力の河村尚子が初登場。バツハから始まった演奏会は、古典派、ロマン派、近代のスクリャービン、ドビュッシーと、多彩な歌心が紡ぎ出される。ダイナミックで音の切れが美しいベートーヴェンの「熱情」、音の連なりが流麗に押し寄せるショパン、色彩感豊かで熟成した温かみを感じるドビュッシー。演奏者の澄んだ魂が透けて見えるような、内的表現から影絵される音色の透明感が印象的だった。

Photo◎加藤英弘

MUSIC 11月10日

埼玉会館ファミリー・コンサート 「バーカッション★パラダイス」



リズムと強弱のみで構成された曲から、旋律のあるオーケストラ曲まで、多岐にわたる音楽を打楽器のみで演奏。楽器を使わず、手のみで演奏する《手のための(ていろ)》は見た目にも美しく、《亡き女王のためのパヴァーヌ》では心に沁み入る美しい響きを堪能、(剣の舞)や(木星)などは、フルオーケストラに匹敵する迫力に驚き。手拍子や歌での参加コーナー、楽器の特色や仕組みの分かりやすい解説も好評だった。(会場: 埼玉会館)

Photo ◎加藤英弘

PLAY 12月11日~20日

【提携公演】『トロイアの女たち』



戦争で男たちは死に絶え、残された女たちはかすかな希望も打ち砕かれる。日本語、ヘブライ語、アラビア語で繰り返されるコロスの嘆きは終盤に至って大きなうねりとなり、幼い王子の死を悼む歌が劇場の空気を震わせた。日本人俳優、イスラエルのユダヤ系、アラブ系俳優の表現の違いに驚かされ、その違いのままに同じ空間に共存できることこそが演劇の力だとも気づかされる。蜷川幸雄演出のもと、3年にわたる日本とイスラエルとの国際共同制作が未来への一粒の種を播いた。

(東京芸術劇場/テルアビブ市立カメリア・シアター国際共同制作会場: 池袋・東京芸術劇場)

Photo ◎宮内勝

MUSIC 12月15日

光の庭プロムナード・コンサート ~トワイライト・スペシャル~ 花澤絢子(オルガン)&江田雅子(ソプラノ)

ポジティブ・オルガンと、器楽・声楽とのアンサンブルを楽しむミニコンサート。12月はバラのまち中央区アートフェスタ「Candle Art Night @ 芸術劇場」との同時開催。石造りの教会のような響きの豊かな空間で、クリスマスにちなんだ作品のほか、様々な作曲家たちの《アヴェ・マリア》が演奏された。キャンドルの灯がゆらめく幻想的な雰囲気の中、キラキラと美しく響き渡るオルガンの音色と歌声に、心が澄んでいくのを感じる40分間だった。

◎中央区アートフェスタ実行委員会



MUSIC 12月1日

ダニエル・ハーディング指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団



演奏会の度にその絆を強くするハーディングと新日本フィルのコンビが大曲を携え、埼玉会館に登場。チャイコフスキーの《交響曲第4番》は、すっきりとバランス感覚にすぐれた熱演。ストラヴィンスキーの《春の祭典》は、細部まで神経を行き届かせ、丁寧に磨きあげられた完成度の高い演奏だった。ハーディングの音楽への真摯さ、新日本フィルとハーディングの音楽作りへの情熱が伝わってくる演奏会だった。(会場: 埼玉会館)

Photo ◎加藤英弘

MUSIC 12月21日

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第20回 東混ソリステンが贈る日本の歌&クリスマス・キャロル



クリスマス目の演奏会に、日本を代表するプロ合唱団「東混声合唱団」のメンバー8名によるアンサンブル「東混ソリステン」が出演。《通りゃんせ》、《七つの子》など東混が創立以来パトリーの中核におく日本の歌を情感豊かに歌いあげ、クリスマスにちなんだ世界の歌を清らかな歌声で響かせた。最後は、会場の全員で《きよしこの夜》を合唱。せわしない師走の合間、ほっと息つくことのできる心温まる演奏会だった。

Photo ◎加藤英弘

PLAY	DANCE	MUSIC	CINEMA
<p>17 彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ~林家たい平 新春特選落語会</p> <p>開演時間: 19:00</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p> <p>休館日(埼玉会館)</p>	<p>26 アクラム・カーン [DESHーデッシュ]</p> <p>開演時間: 16:00</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p>	<p>18 彩の国シネマスタジオ 優秀映画鑑賞推進事業 溝口健二監督特集 A [西鶴一代女] B [雨月物語] C [山椒大夫] D [近松物語]</p> <p>上映時間: 11:00 (A)/14:20 (C)/17:30 (D)</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p>	<p>25 彩の国シネマスタジオ [別離]</p> <p>上映時間: 10:30/14:30/18:30</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p>
<p>2 さいたまネクストシアター 第4回公演 [2013年・蒼白の少年少女たちによる「オイディプス王」]</p> <p>開演時間: 13:00/16:00</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p>	<p>10 日本昔ばなしのダンス 新作 近藤良平「モモタロウ」 ×伊藤千枝「わらしべ長者」</p> <p>開演時間: 13:00/16:00</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p>	<p>9 小曾根 真の現在 Vol.3 デュオ with エリス・マルサリス</p> <p>開演時間: 15:00</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p>	<p>10 光の庭プロムナード・コンサート</p> <p>開演時間: 14:00</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p>
<p>2 村治佳織の現在 Vol.1 デュオ with ヴォルフガング・シュルツ</p> <p>開演時間: 15:00</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p>	<p>13 埼玉会館ランチタイム・コンサート 第21回 東京交響楽団メンバーによる 弦楽四重奏</p> <p>開演時間: 12:10</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p>	<p>8 13:00 上映終了後、[フタバから遠く離れて] 監督・船橋 淳氏によるアフタートークがあります。</p> <p>9 10:30 上映終了後、彩の国映画甲子園 2011 埼玉映画ネットワーク賞受賞作の特別上映があります。『目で聞き耳で見た』監督・笠原 弘 (2011年/日本/15分) を、無料でご覧いただけます。</p>	<p>8 『フタバから遠く離れて Nuclear Nation』</p> <p>9 『鬼に訊け -宮大工 西岡常一の遺言-』</p> <p>10 『ハーブ&ドロシー アートの森の小さな巨人』</p>
<p>30 パッハ・コレギウム・ジャパン 『ヨハネ受難曲』</p> <p>開演時間: 16:00</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p>	<p>17 みんなのオルガン講座 受講生発表会</p> <p>開演時間: 14:00</p> <p>休館日(熊谷会館) 休館日(埼玉会館)</p> <p>休館日(彩の国さいたま芸術劇場)</p>	<p>10 13:10 上映終了後、舞踊評論家・長野由紀氏によるアフタートークがあります。</p>	<p>11 13:10 上映終了後、舞踊評論家・長野由紀氏によるアフタートークがあります。</p>

★特に記載のないものは彩の国さいたま芸術劇場にて開催します。

3歳以上のお子様から楽しんでいただける公演です。光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

PLAY

彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ~柳亭市馬と若手落語家競演会

春の四季彩亭は柳亭市馬が出演。次代の落語界を担うホープ、三遊亭兼好や春風亭一之輔を始め、若手落語家たちとにぎやかな高座を繰り広げます。

※公演名が、前号でお知らせしておりましたものから変更となりました。何とぞご了承ください。

チケット発売日 一般:1月17日(木) ※メンバーズ発売中

日時: 4月21日(日) 開演14:00
会場: 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演: 柳亭市馬、三遊亭兼好、春風亭一之輔、三笑亭夢吉、柳家わさび

PLAY

彩の国シェイクスピア・シリーズ第27弾 『ヘンリー四世』

チケット発売日 一般:1月19日(土) ※メンバーズ発売中

DANCE

コンドルズ 埼玉公演2013新作

チケット発売日 一般:2月16日(土) メンバーズ:2月2日(土)

DANCE

マギー・マラン 『Salvesーサルヴス』

チケット発売日 一般:3月2日(土) メンバーズ:2月23日(土)

MUSIC

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.22 リーズ・ドウ・ラ・サール

チケット発売日 一般:2月2日(土) メンバーズ:1月26日(土) ※4公演セット券発売中。

MUSIC

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第22回 NHK交響楽団メンバーによる 金管五重奏

平日のお昼どきに気軽に一流の演奏を聴けると評判のコンサート。6月はおなじみのN響から金管奏者を迎えます。

開山幸弘(トランペット)

チケット発売日 一般:3月10日(日) メンバーズ:3月9日(土)

日時: 6月4日(火) 開演12:10
会場: 埼玉会館 大ホール
出演: 開山幸弘(トランペット)、菊本和昭(トランペット)、今井仁志(ホルン)、新田幹男(トロンボーン)、池田幸広(チューバ)
曲目: ロドリゴ/アランフェス協奏曲 ほか
チケット(税込) 全席指定1,000円

LINE UP 2013.1-3

料金: 大人1,000円 / 小中高生800円(当日支払いのみ) ※1月の溝口健二監督特集は、大人・小中高生とも1作品500円

1月18日(金)~20日(日)

会場: 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

優秀映画鑑賞推進事業 溝口健二監督特集 A [西鶴一代女] B [雨月物語] C [山椒大夫] D [近松物語]

18日(金) 11:00 (A) / 14:20 (C) / 17:30 (D)
19日(土) 10:30 (B) / 13:10 (A) / 16:30 (C)
20日(日) 10:30 (D) / 13:20 (B) / 16:00 (A)

監督: 溝口健二
出演: 『西鶴一代女』田中絹代、山根寿子、三船敏郎 ほか(1952年/137分)
『雨月物語』京マチ子、水戸光子、田中絹代 ほか(1953年/96分)
『山椒大夫』田中絹代、花柳喜章、香川京子 ほか(1954年/124分)
『近松物語』長谷川一夫、香川京子、南田洋子 ほか(1954年/103分)
※18日(金) 11:00『西鶴一代女』上映回は、音声ガイドがつきます。イヤホン付きFMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。

1月25日(金)~27日(日)

会場: 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

第84回アカデミー賞 外国語映画賞受賞 『別離』

25日(金) 10:30 / 14:30 / 18:30
26日(土) 10:30 / 14:30 / 18:30
27日(日) 10:30 / 14:00 / 17:30

※26日(土) 14:30 上映終了後、映画プロデューサー・市山尚三氏によるアフタートークがあります。

製作・監督・脚本: アスガー・ファルハディ
出演: レイラ・ハタミ、ペイマン・モアディ ほか(2011年/イラン/123分)

2月8日(金)~11日(月・祝)

会場: 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

『バレエに生きる ~パリ・オペラ座のふたり~』

8日(金) 10:30 / 13:10 / 15:50 / 18:30
9日(土) 10:30 / 13:10 / 15:50 / 18:30
10日(日) 10:30 / 13:10 / 16:20 / 19:00
11日(月・祝) 10:30 / 13:10 / 15:50

監督: マレーネ・イヨネスコ
出演: ビエール・ラコット、ギレーヌ・テスマー(2011年/フランス/99分)

※10日(日) 13:10 上映終了後、舞踊評論家・長野由紀氏によるアフタートークがあります。

3月8日(金)~10日(日)

会場: 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

A『フタバから遠く離れて Nuclear Nation』
B『鬼に訊け -宮大工 西岡常一の遺言-』
C『ハーブ&ドロシー アートの森の小さな巨人』

8日(金) 10:30 (B) / 13:00 (A) / 16:10 (B) / 18:40 (A)
9日(土) 10:30 (A) / 13:30 (B) / 16:00 (A) / 18:40 (B)
10日(日) 10:30 (C) / 13:00 (B) / 15:30 (A) / 18:10 (B)

『フタバから遠く離れて Nuclear Nation』
監督: 船橋 淳
テーマ音楽: 坂本龍一(2012年/日本/96分)

『鬼に訊け -宮大工 西岡常一の遺言-』
監督: 山崎 佑次
ナレーター: 石橋 蓮司(2011年/日本/88分)

『ハーブ&ドロシー アートの森の小さな巨人』
監督・プロデューサー: 佐々木芽生
出演: ハーバート・ヴォーゲル、ドロシー・ヴォーゲル ほか(2008年/アメリカ/87分)

※8日(金) 13:00 上映終了後、『フタバから遠く離れて』監督・船橋 淳氏によるアフタートークがあります。

※9日(土) 10:30 上映終了後、彩の国映画甲子園 2011 埼玉映画ネットワーク賞受賞作の特別上映があります。『目で聞き耳で見た』監督: 笠原 弘 (2011年/日本/15分) を、無料でご覧いただけます。

『フタバから遠く離れて Nuclear Nation』
©2012 Documentary Japan, Big River Films

『鬼に訊け -宮大工 西岡常一の遺言-』
©『鬼に訊け』製作委員会

『ハーブ&ドロシー アートの森の小さな巨人』
©2008 Fine Line Media, Inc. All Rights Reserved.

PLAY

彩の国さいたま寄席
四季彩亭
～林家たい平

日時：1月17日(木) 開演19:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演：林家たい平、春風亭柳朝、桂 枝太郎、
林家たい平
チケット(税込)
一般3,000円 メンバース2,700円 ゆうゆう割引
(65歳以上・障がい者) 2,000円

DANCE

アクラム・カーン
『DESHーデッシュ』

日時：1月26日(土) 開演16:00
27日(日) 開演15:00
※上演時間約80分(途中休憩なし)
会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
演出・振付・出演：アクラム・カーン
チケット(税込)
一般：S席5,000円/A席3,500円(学生2,500円)
メンバース：S席4,500円/A席3,200円
※A席サイドバルコニーのお席は、舞台の一部が見切れます。
※演出の都合により、開演時間に遅れますとお席へのご案内ができない場合がございます。予めご了承ください。

PLAY

さいたまネクスト・シアター第4回公演
『2013年・蒼白の少年少女たちによる
「オイディプス王」』

詳細は
→ P.6
~7

DANCE

子どもと大人のためのダンス
日本昔ばなしのダンス 新作
近藤良平『モモタロウ』×
伊藤千枝『わらしべ長者』

日時：2月10日(日)
11日(月・祝) 各日開演13:00/16:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
演出：『モモタロウ』
振付：近藤良平
出演：コンドルズ選抜メンバー
(鎌倉道彦、藤田善宏、山本光二郎、
近藤良平)
『わらしべ長者』
振付：伊藤千枝
出演：珍しいキノコ舞踊団選抜メンバー
(山田郷美、篠崎芽美、伊藤千枝)
チケット(税込)
大人(高校生以上) 2,000円 子ども(3歳以上中学生
以下) 1,000円
※3歳未満のお子様はご遠慮ください。

MUSIC

村治佳織の現在 Vol.1
デュオ with
ヴォルフガング・シュルツ

日時：3月2日(土) 開演15:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出演：村治佳織(ギター)、
ヴォルフガング・シュルツ(フルート)
曲目：武満 徹/フルートとギターのための《海へ》
ピアノソナ/《タンゴの歴史》よりほか
チケット(税込)
一般：正面席5,000円
メンバース：正面席4,500円
※正面席は残席僅少。バルコニー席・学生席は予定枚
数終了しました。

3歳以上のお子様から楽しんでいただける公演です。

MUSIC

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第21回
東京交響楽団メンバーによる
弦楽四重奏

日時：3月13日(水) 開演12:10
会場：埼玉会館 大ホール
出演：田尻 順(東京交響楽団アシスタントコンサート
マスター) ほか
曲目：ロウ/踊り明かそう
ハーライン/星に願いを
ドヴォルジャーク/《弦楽四重奏曲第12番
「アメリカ」》より第4楽章 ほか
※当初発表した曲目から一部変更いたしました。なに
とぞご了承ください。
チケット(税込)
全席指定1,000円

MUSIC

バッハ・コレギウム・ジャパン
『ヨハネ受難曲』

詳細は
→ P.12
~13

MUSIC

ピアノ・エトワール・シリーズ
Vol.21 ユジャ・ワン
Vol.22 リーズ・ドウ・ラ・サール
Vol.23 大崎結真
アンコール! Vol.2 北村朋幹

詳細は
→ P.14
~15

※Vol.21単独券、4公演セット券発売中。
Vol.22以降の単独券は順次発売します。

THEATER BRIDGE

Information

さいたまネクスト・シアター第4回公演
『2013年・蒼白の少年少女たちによる「オイディプス王」』
〈埼玉県内在住・在学の中学生・高校生限定〉
稽古場見学会を開催します!

埼玉県芸術文化振興財団では、劇場の活動を広く県民の皆さんに知っていた
ため、公演以外にもさまざまな活動を行っています。そのひとつが「稽古
場見学会」。出演者やスタッフがどのように作品を創り上げて行くのか。普段
は見られない貴重な稽古場の様子を見ることが出来る見学会は、大変ご好評を
いただいています。
今回、平均年齢25歳のさいたまネクスト・シアターの稽古の様子を、埼玉県内
在住・在学の中学生・高校生の皆さんにご覧いただけます。
創造の現場を間近にご覧いただくことで、芸術文化への理解を深めていた
だけでなく、出演者とスタッフが丸となって公演に取り組む姿が、大きな
刺激になることと思います。多くの皆さんのご応募をお待ちしています。

【日時】2月2日(土) 13:00 ~ (約2時間の予定)
※稽古場見学会終了後は参加者の皆さんと、蛸川幸雄・出演者との質疑応答を予定しています。
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大稽古場
【定員】30名(参加費無料) 【対象】埼玉県内在住・在学の中学生および高校生
【応募方法】ハガキに以下の事項をご記入の上、締切日までにご応募ください。
①郵便番号・住所 ②氏名(フリガナ) ③年齢 ④学校名・学年 ⑤希望人数(ハガキ1枚につき2
名様まで)
※2名様でご応募の場合、同伴者の方の②~④をあわせてご記入ください。
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。なお、当選通知の発送をもって、抽選結果の発
表に代えさせていただきます。
【応募締切】1月25日(金)必着
【応募・お問合せ先】〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
彩の国さいたま芸術劇場「オイディプス王」稽古場見学会係
TEL. 0570-064-939(休館日を除く10:00~19:00)



稽古場見学会の様子(2012年) Photo ©宮川舞子

メンバーズに入会すると便利で楽しい特典がいっぱい!! 年会費2,000円

- 特典その1 **メンバーズ料金** 財団指定の公演でメンバーズ料金
- 特典その2 **優先予約** 一般発売よりも先に人気公演のチケット販売
- 特典その3 **チケット購入はキャッシュレス** チケット代、年会費は便利な口座引落し
- 特典その4 **財団情報誌をお届け** 公演情報満載の「埼玉アーツシアター通信」をお送りします
- 特典その5 **チケット送料無料** チケットは「安心のセキュリティブック(補償付き)」でお届け
- 特典その6 **プレオーダー** 人気の公演では優先予約に先駆けてプレオーダーを実施 ※プレオーダーは抽選

ご入会希望の方は、メンバーズ事務局 TEL: 048-858-5507

[チケットの購入方法について]

インターネット



「SAF オンラインチケット」で、
発売初日 10:00 から公演前日
オンラインチケット
23:59 まで受付いたします。

トップページの「チケット購入」からお進みください。
【PC・スマートフォン】 <http://www.saf.or.jp/>
【携帯】 <http://www.saf.or.jp/mobile/>



[クレジットカード決済→コンビニ発券]

※チケット代のほかに、【チケット一枚につき】システム利用料 135 円、
店頭発券手数料 105 円が必要です。

[コンビニ支払い→コンビニ発券]

※チケット代のほかに、【お支払い1件につき】振込手数料 210 円
(代金合計 3 万円以上は 410 円)、【チケット1枚につき】システム
利用料 135 円、店頭発券手数料 105 円が必要です。

[クレジットカード決済→宅配便で配送]

※チケット代のほかに、【配送1件につき】配送料 300 円が必要です。

[コンビニ支払い→コンビニ発券]

※チケット代のほかに、【お支払い1件につき】振込手数料 210 円
(代金合計 3 万円以上は 410 円)、【チケット1枚につき】システム
利用料 135 円、店頭発券手数料 105 円が必要です。

【窓口で支払い・引取り】 ※手数料はかかりません。

電話予約

●チケットセンター
0570-064-939

10:00 ~ 19:00 (彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)
※一部の携帯電話、PHS、IP 電話からは受付できません。

窓口販売

下記窓口で直接購入いただけます。
電話予約したチケットの引取もできます。

- 彩の国さいたま芸術劇場 (10:00~19:00)
- 埼玉会館 (10:00~19:00)
- 熊谷会館 (10:00~17:00)

※休館日をお確かめの上
ご来場ください。

現金もしくはクレジットカード決済、
その場でチケットをお渡します。
※手数料はかかりません。

財団メンバーズのお客様は、いずれの場合も便利な「口座引落し」でのお支払い、チケットは無料配送いたします。

ACCESS MAP アクセスマップ

[彩の国さいたま芸術劇場]



〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1
電話：048-858-5500 (代) ファックス：048-858-5515
●電車でのアクセス
→ JR 埼京線と野本町駅(西口)下車 徒歩7分
●バスでのアクセス
→ JR 京浜東北線北浦和駅から西武バス大久保行き
「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

[埼玉会館]



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4
電話：048-829-2471 (代) ファックス：048-829-2477
●電車でのアクセス
→ JR 宇都宮線・高崎線・京浜東北線浦和駅(西口)下車
徒歩6分

[熊谷会館]



〒360-0031 埼玉県熊谷市末広 3-9-2
電話：048-523-2535 (代) ファックス：048-523-2536
●電車でのアクセス
→ JR 高崎線熊谷駅(北口)下車 徒歩15分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

(株) 与野フードセンター / (株) 亀屋 / 武州ガス(株) / (株) 松本商会 / (有) 香山壽夫建築研究所 / 埼玉新聞社 / (株) テレビ埼玉ミュージック / 埼玉りそな銀行
 (株) パシフィックアートセンター / (株) アサヒコミュニケーションズ / FM NACK5 / 東京ガス(株) / カヤバ システム マシナリー (株) / (株) タムロン / (株) 十万石ふくさや
 森平舞台機構(株) / 東芝エルティエーエンジニアリング(株) / 埼玉トヨタ自動車(株) / (有) 齋賀設計工務 / ゲレッツ・ジャパン・スズゼン(株) / 武蔵野銀行
 浦和ロイヤルバインズホテル / アルピーノ村 / 国際照明(株) / 三国コカ・コーラボトリング(株) / 埼玉スバル / 桶本興業(株) / (株) 佐伯紙工所 / (株) 太陽商工
 (株) しまむら / (有) 六辻ゴルフセンター / 不動産発(株) / ビストロ やま / 埼玉県信用金庫 / (株) 栗原運輸 / 彩の国SPグループ / (有) ブラネッツ / 関東自動車(株)
 (株) デサン / セントラル自動車技研(株) / 丸美屋食品工業(株) / ボラスグループ / ひがし歯科 / 埼玉トヨペット(株) / 公認会計士 宮原敏夫事務所 / (株) 価値総合研究所
 (株) 埼玉交通 / 医療法人 顕正会 蓮田病院 / (株) ウイズネット / サイデン化学(株) / アイル・コーポレーション(株) / 五光印刷(株) / 旭ビル管理(株)
 ヤマハサウンドシステム(株) / (株) エヌテックサービス / (株) クリーン工房 / (株) つばめタクシー / (株) サンワックス / (株) 総合舞台 / (株) タクトコーポレーション
 広総業(株) / (財) さいたま住宅検査センター / (株) コマム / (株) 国大セミナー / (株) NEWS エンターテインメント / (株) オーガス / イープラス / 六三四堂印刷(株)
 医療法人 榎会 林整形外科 / 埼玉県整形外科医会 / 医療法人社団 山粋会 山崎整形外科 / サンケイリビング新聞社 / (株) 三和広告社 / (株) セノン / 東京新聞ショッパー社
 (株) 松尾楽器商会 / (有) 中央舞台サービス / 埼玉県農業協同組合中央会

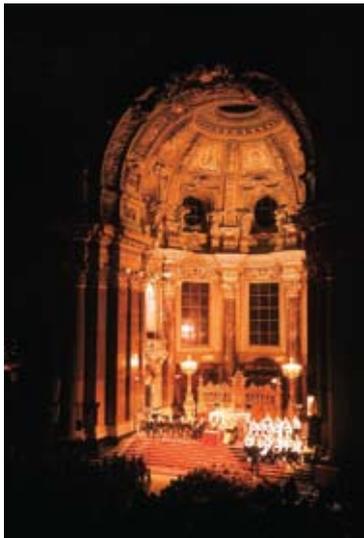
H24.12.15 現在 / 一部未掲載

【問合せ先】(公財) 埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507



ドイツの受難曲演奏事情

文◎加藤拓未(音楽学)



ベルリン大聖堂でのクリスマス
コンサート Photo © GNTB/
Joachim Messerschmidt

キリスト教には「教会暦」という固有の暦があり、教会音楽はその暦にしたがって演奏の時期が定まっている。今日のドイツの場合、教派や地域によって多少の違いはあるが、1年のうち、アドヴェント(待降節、12月25日直前の4週間)と四旬節(復活祭直前の40日間)の時期は、特に教会音楽が盛り上がりを見せる。前者ではイエス・キリストの降誕を祝って、バッハの《クリスマス・オラトリオ》などが頻繁に演奏される。そして後者は、キリストの受難を偲ぶ期間で、ドイツ各地の教会でバッハの《マタイ受難曲》および《ヨハネ受難曲》が次々と演奏される。ベルリンやハンブルクなどの大都市だと、この1ヶ月強の間に15~20回くらい受難曲の演奏が行われるだろう。それもバッハ

2013年の四旬節は2月13日から。
ライプツィヒ・トーマス教会のバッハ像 Photo © GNTB/Schmidt

だけでなく、バッハと同時代に活躍したヘンデルやテレマンの受難曲といった珍しい作品や、アルヴォ・ペルトのような現代の作曲家による受難曲も取り上げられる。「十字架上のキリスト」を題材とした絵画や彫刻が無数にあるのと同じように、受難曲もバッハ以外にたくさん存在するのである。言われてみれば当然の話なのだが、どうしても「受難曲」というと「バッハ」のイメージが強いのではなかろうか。こうした様々な受難曲の演奏スケジュールは、各都市の主要教会などで配布されている無料パンフレットで把握できる。このパンフを片手に、あちらこちらの教会をまわってバッハ以外の受難曲を聴いてみるのも、なかなかオツなものである。

